

桜カミ丘



火災避難訓練 ～落ち着いて避難行動をとることができました～

調理場で火災が発生したことを想定しての火災避難訓練を実施しました。火災を知らせる非常ベルが1分程度鳴った後、放送で避難指示が出され、口をハンカチ等で押さえて頭を低くして落ち着いて避難をするという一連の行動を短時間で行う事ができると避難はうまくいったと考えられます。



運動場に避難をした子どもたちに、火事は炎も怖いけれど煙の方がもっと怖いということについて話をしました。煙の広がるスピードは1年生が全速力で走るよりも速い場合があるということ、煙が立ちこめると目の前が全く見えなくなるということ、煙は大変高温で吸い込むと喉をやけどする場所があるということから、煙を避けるように避難することが重要であると伝えました。ハンカチ等で口を押さえ、頭を低くして逃げる理由を理解して避難をすることが、命を守る行動につながると思います。また、急いで避難をすることは大事な事だけれど、急ぐことと慌てることは違うということも話しました。「お・は・し・も」の合言葉は命を守るための約束です。そして、誰かが大事な話を始めたら、自分がしていることを一旦やめて話を聞くという習慣を身に付けることも大切です。日頃の学校生活の中で、そういう力も付けていかなければならないと感じました。火災避難訓練だけでなく地震や不審者などに対する避難訓練も実施していく予定です。

縦割り清掃開始 ～90名全員で自分たちの学校を美しく～

6月8日から縦割り清掃が始まります。そのための準備を体育館で行いました。清掃場所のリーダーが掃除の手順について確認をし、役割分担もしました。下級生は上級生に掃除の仕方を教えてもらうことで、上手に掃除ができるようになります。上級生は、下級生に教えなければならないことやお手本にならなければいけないという責任感をもって縦割り清掃に取り組みます。全校生90名が協力をして、この広い学校の敷地内の清掃を頑張ってほしいと思います。自分たちの学習環境を、自分たちで清掃して清潔に保つということは、日本の学校では珍しくないことですが、いい習慣であると思います。

